



◆ 明日に賭ける

めんどくさがるの私は初めてアメリカに、しかも一人でゆくと、羽田空港で、その旅客機が、いよいよ出発で、ガチャンとその扉を閉めたとき、腹が立って、あた

CINEMA

試 写 室



映画評論家

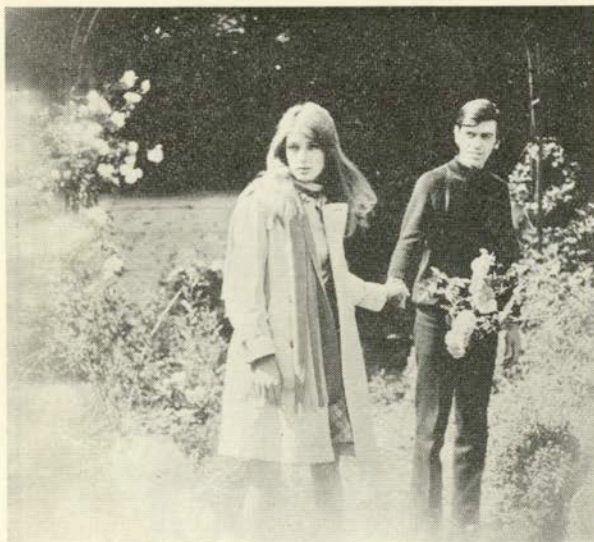
淀 川 長 治

〈37〉

かも棺桶のふたが閉った、そんな気がしたものである。
それと反対に、いよいよ、これから新しい映画を見るという、その試写室の扉が映写開始まえに、ガチャンと閉まるときには、これから天国へ行くのだという胸さわぎでゾクゾクと嬉しくなるのであった。

私たちの試写室は、各映画会社にしつらえた五十名くらいの席のある小試写室で、ここで封切二カ月または三カ月くらいまえの、入荷したばかりの映画の新品を見るのである。しかしシネラマの場合だけは特別にその効果のために映画館の早朝または夜の一回の興行を中止してこれの試写に当てる。

小試写室には批評家諸氏だけが、まずその第一回に集り、つづいて数回にわたってあらゆる関係の人たちがここでその試写を見る。自由席であるが批評家たちは自然と自分たちの席の位置をきめて、最前列で見る人、最後列で見る人という区別が出来てしまっている。双葉十三郎、岡俊雄、山本恭子、植草甚一などの諸氏はその最前列組であり、清水千代太、南部圭之助、飯島正などの諸氏は最後列組である。最前列は自分の席の前には一人も邪魔者がいないこと。最後列はたとえば途中で、かりに両手をあげたり、またはメモ帖を取り出したりしても、うしろの人の邪魔にはならぬということ、目の位置、画面への視覚の問題。私はいつも最前列から一つめの、つまり前から二列目に位置をきめている。これは最前列では画面の動きが、やや早くなる感覚を受けること、視力の点で、最前列は画面がややほんの少し、私には大きすぎる。しかし二列目にいると、前の人の頭が、ときには邪魔になるおそれがある……という危険は私たちの試写の場合にはない。これは誰もが一番に気にすることなので、この小試写室の批評家たちの試写では、誰もが映写と同時に、からだを深く伸すよう椅子に埋めるので試写室の中央にしようが、前の人の頭が邪魔になるというのではない。それにすべてこの小試写室はその部屋が階段ふうにな、またはダラダラ坂の傾斜になっているので



◆ 若草の萌えるころ



◆ 個人教授

八名六列くらいのその各列は、ひな段型というわけで見やすくされている。

これが大ホールの試写となると映画開始後の途中からはいる人、そのはいる時に立ったままの姿勢で堂々とはいる人、映写中に椅子に高らかに正座して椅子の背から肩がはみ出している人などを見かけて悲しくなる。

さて、小試写室の試写もいい映画の場合はいいのだがどう見てもハシにも棒にもならぬ映画のときには、苦しくて双葉十三郎氏などは苦しがって椅子から体をそらしすぎ椅子からボタンと前に足を伸しすぎて落ちてしまわれることもある。これは最前列だからである。

最近この小試写室で見た映画では、ロベール・アンリコ監督の「若草の萌えるころ」と、ミシェル・ボワロン監督の「個人教授」、それとマイケル・ウィナー監督の「明日に賭ける」が一番楽しかった。

「若草の萌えるころ」は老女の枯死と若い娘の愛の青春の二重奏で、原名は「ジータ伯母さん」その老女に扮するカティナ・パクシヌーがすばらしかった。若い娘にはジョアンナ・シムカスが扮している。「個人教授」はアラン・ドロンを育てたボワロン監督がこんどはルノー・ベルレーという二十二歳の新人青年を紹介する。映画は十八歳の若者と二十五歳の女の悲恋。以上二作品はフランス映画だけにそのタッチはやわらかく、みどりの草むらにすみれの花一輪を発見のやさしさがあった。

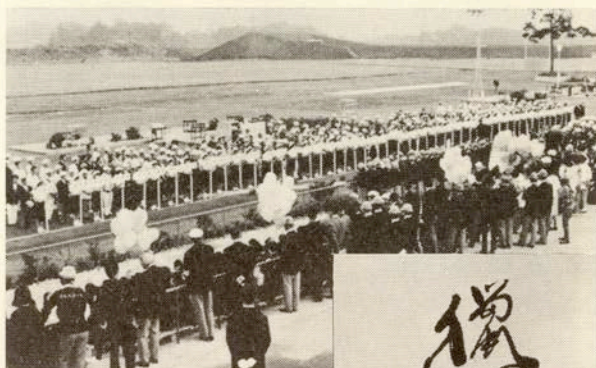
「明日に賭ける」は「ジョーカー野郎」といういきなアクシジョン・スリルを示したマイケル・ウィナー監督の新作で、これはイギリス映画である。フランス映画の香りが「女」とするとイギリス映画の香りは「男」。いかにも男の感覚あふれた男の哀感が冷たく描かれている。重役の位置にいながらその社主の腹黒さに嫌や気のさした男が、純文学雑誌に出資し、その編集部的女を恋するが、彼女は事故死する。オリバー・リード、キャロル・ホワイット、オーソン・ウェルズ主演と申せば映画つうはこの映画の感じがおわかりのことと思う。

67 誌 戯 戸 神

★戦前と戦後の狩猟界の大きな差異

昭和初期の猟区（農林省許可）には、兵庫県下では多可郡の杉原谷、京都の雲ヶ畑（北山附近）、日光などへとよく出掛けただが、獲物を狩り立てて追い出す勢子（せこ）などをやとったもので、入山料金は一日十五円だった。獲物はキジと山鳥で、普通二、三間（げん）ぐらいの長さのサオにつづいて吊られるのが普通でなかには一日百羽もしとめた人もあった。今日では一日二羽ぐらいだから、昔の豪盛さがしのばれるわけだ。

猟期は十一月十五日から翌年二月末までだったが、おもしろいのは戦前は狩猟の免許状が各自の所得に応じて三種に分けられていたことで、一等は白色、二等は青、三等は赤だった。だから猟へ出掛けて旅館にとまる時、

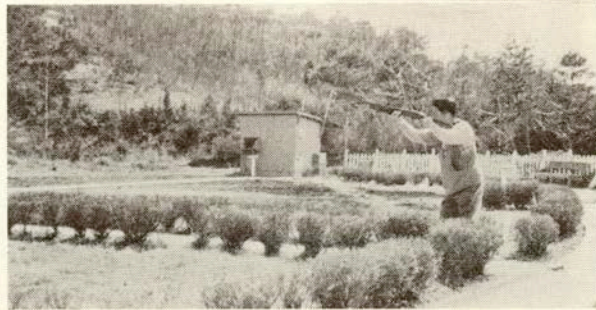


上42年度の埼玉国体、所沢における射撃大会入場式。この大会で兵庫県はスキート部門で優勝するなど総合2位の成績。

日本
下
好夫

中日本狩猟倶楽部会長赤尾好夫氏の自筆、
猟は人なり

下大久保にあるスキート射撃場。禁猟期間のみ開場される。



ハンティング② 青木重雄

「お名前は？」と聞かれて一等免許を出し、ついでに神戸名物の酒の粕でもやると、たちまち笑顔でよい旅館の一等室へ案内してくれたものだった。もちろんこんな身分制は戦後は廃止されて一律になった。当時は獲物の値段がよく、イノシシなどは百匁十五銭（現在なら千円以上か）で売れたのでなかなか景気がよかった。高橋氏などもよく猟で収入を得ていたハンターの一人である。また、戦争中は増産運動の掛け声に乗ってハンターたちは盛んに野ウサギをしとめてその毛皮を国へ供出したものである。

さて、県下の狩猟界の歴史を振り返ってみると、まず県猟友会が結成されたのは昭和七年八月二十五日だった。県会議事堂の四階二十一号室で結成会が開かれ、会長に足立修氏、黒瀬神戸市長を顧問としてスタートし

た。つづいて第一回総会を県奨励館で開き、名誉会員が十名、一般会員は二六〇人前後だったが、一般会員の会費は一人五十銭だった。当時は狩猟はやはり鉄砲所持の建て前から警察に關係があるため同会の神戸市内の九支部の支部長にはそれぞれその地区の警察署長が就任して監督指導に当たった。思えばその頃の会員数は少なかつたもので、現在の県猟友会の会員数八千七百名、神戸市内だけで千七百名と比べると、全くお話にならないほどの実情だった。だが、獲物の方は逆に豊富で、但馬方面には四つ足の動物が多く、クマ、シカ、イノシシ、タヌキ、キツネなどがよくとれたから、ハンターたちは大いに腕をふるったものだ。ことに出石郡の出石町に近い徳王山附近にいるクマは常にカニを食べている關係でいわゆる「熊の胃」の値が高く、ハンターを喜ばせた。その頃から県下にはイノシシの数が多かったが、今日でも兵庫県はイノシシ県といわれており、昭和四十年度の調査によってもイノシシの全国捕獲数約三万五千頭のうち兵庫県は四千六百頭で第一位。第二位は三重県の三千六百頭である。

昭和十四年の坂井千秋知事の時イノシシの害があまりにひどいため、県下で猟犬を飼うことが県の命令で奨励されてそのまま戦後の昭和二十三年まで続けられたが、当時は飼った者に一年に五十円の飼育代が与えられたものだった。また、十九年には戦時下の影響もあって野鳥の公害が目にあまり、これも県の指令で野鳥ばく滅隊が組織され、県下を二十六地区に分け百六十猟隊を結成（二隊十五人ぐらゐ）したが、県は年間七十万円の報償金を出した。腕ききのハンター林勇男氏（県猟友会員で林建設工業KK社長）の父で県会議員の勇次郎氏など同猟隊のために大いに力を尽くした一人だった。だが、この運動はその後中止されている。戦時中の思い出として忘れられないのは十九年に神戸支部が百七頭のイノシシをしとめたことで、これは同支部の今日までのレコードである。

敗戦後は今までの官優位の立ち場が逆転、民主主義となったのにつれて、猟友会も民間中心に変わり、会員の互選で神戸支部長に中節雄氏がきまった。その後今日まで田村亨氏が支部長である。戦後神戸には米兵が多かつたのでそれに刺激されて神戸のハンター人口は急激にふえた。だが、法規が不備（大正七年に制定された「狩猟法」のままであった）だったので、県下だけでなく全国的に鳥や四足獣が乱獲された。これでは滅亡してしまうというので昭和三十八年になってようやく「鳥獣保護及び狩猟に関する法律」が施行されたが、この法律とて完全ではなかった。これと平行して他方には狭い場所で行われるスキート射撃が盛んとなり、米兵たちが米軍キャンプでやり出した。また、大久保に日本人用のスキート射撃場が神戸市腕塚町の越後屋というふとん屋から土地の提供を受けて始まった。今もそのまま借り受けていて、禁猟期間のみ開場している。昭和二十五年には須磨公園にトラップ射撃場ができたが、のちに国立公園法により多額の使用料を収める必要が生じたため、ついに廃止された。当時スキート射撃場は全国では兵庫を除いて東京と九州にしかなかったものだ。だから近年の国体では射撃界の兵庫勢の活躍、とくにクレイ部門が目ざしく、優秀な成績を挙げている。このため昭和四十四年神戸に神戸市クレイ射撃協会が発足した。こうした時勢の推移を織り混ぜながら、戦前の猟が上流階級のものに限られていたのに反して、戦後は庶民のものとなり、体力と鉄砲と犬さえあれば、だれでもハンティングができるようになった。ところで昔のハンターは体力的にもすぐれてパイオニア精神をもって山野を犬を連れて跋渉したが、今の重役はクラブをもって芝生のゴルフ場を歩くのがせいぜいである。最近では安保問題も関連してか銃の取り締まり規則が大いにやかましいが、神戸には山があるのだから神戸人はもともととて狩猟に親しむべきであるとは県猟友会の現役の人々の弁である。

リンゴ酢と蜂蜜で
腕をふるった
新しい“味”



神戸三宮生田ノ社ノ西

鯨の又 半

電話・三の宮 ㊿ 0935

なごやかな雰囲気!!



焼鳥. 盛り

山 形

三宮神社東路入る

TEL 33-5979
32-2417



指



ジャンケン

岡田淳

岡田淳

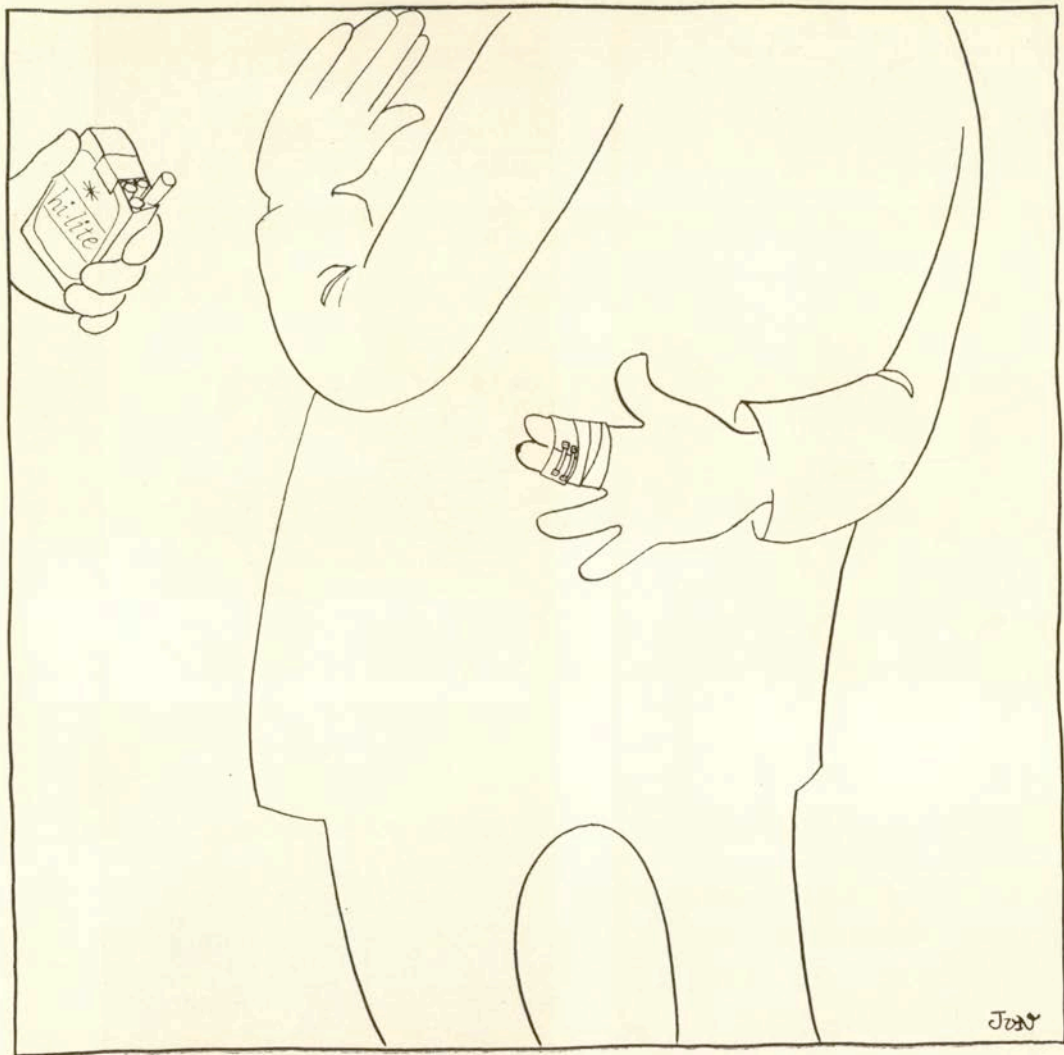


指



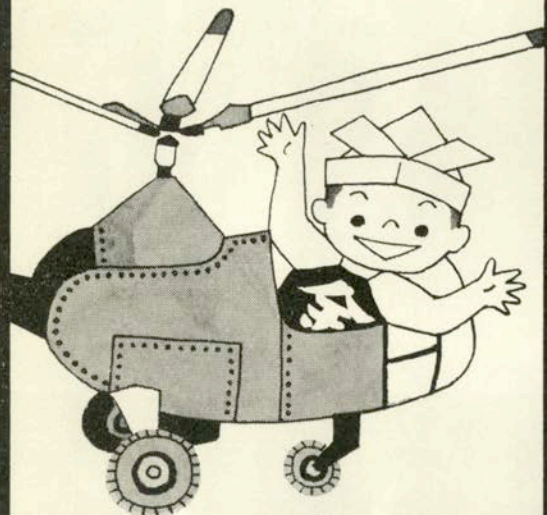
禁煙中

岡田淳



岡田淳

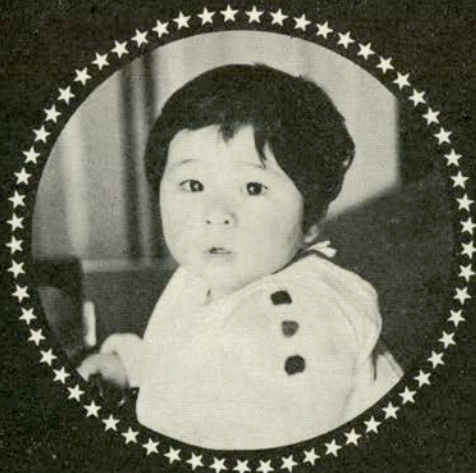
五月節句は
カメヤの武者人形で



おもちゃの カメヤ

三宮方面でのお買物は………
 さんちか店 ファミリータウン 38-4045
 三宮店 センター街大洋劇場東隣 33-4969
 元町方面でのお買物は………
 元町店 元町通3丁目山側 33-0090
 パンプウ店 元町通1丁目不二家前 39-0768

こんにちは赤ちゃん



芦屋市 浅海麻生ちゃん

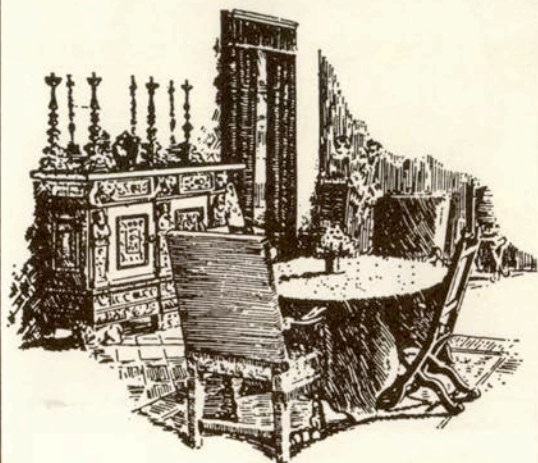
完全看護★暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大槻町9番地
 国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
 ☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

家具・室内装飾・工芸品



永田良介商店

神戸市生田区三宮町三丁目・大丸前・電話神戸 (39) 3737 (代表)
 東京店・東急百貨店 日本橋店内1階 03(211)0511
 東横店東館7階 03(462)4535

Nakaniwa



宝石
貴金属
時計

仲庭

さんちかタウン (39) 4593
 梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
 梅田阪急前(御堂筋東側)
 (313) 0512代表
 桜橋 毎日新聞社前(341)0412
 新大阪ステーションストア
 大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

★神戸の集いから

□新谷兄妹激励の会開かれる

神戸の彫刻一家としてなじみ深い、新谷秀雄氏の二世、瑛紀さんが、ローマアカデミア彫刻科専攻のかたわら、ヨーロッパ全域にわたり美術研修を、またアメリカで彫刻の勉強に励んでいた沢子・映子さんの三兄妹が二月十三日無事帰国。三月七日～十二日までそのう八階画廊で、瑛紀さんが滞欧スケッチ展を、旅行中の記録として開いた。そして、帰国祝いと激励をかねて六日夜六時よりオリエンタルホテル一階で先輩、友人四十人が集まった。五月には兄妹三人展が開かれる予定。



左より新谷瑛紀・沢子・映子・秀雄氏・行吉学長

□ポートアイランドを見学する

神戸青年会議所メンバー

ポートアイランドは静かに浮上を始めている。これを一望のもとに見渡せるのが、西日本一の超高層建築・神戸商工貿易センターだ。2月15日、神戸青年会議所経済活動委員会（委員長・上島達司）の計画で、神戸JIC四十名ほどが建築中の商工貿易センターの最上階よりポートアイランドを展望、次いでランチに乗って現場を見学。ポートタワーの港湾博物館で、諸岡博熊（神戸市企画局）、水谷頼介（計画研究室）諸氏の説明があり質疑応答がかわされた。



写真は、ポートアイランドにて

chianti corner

キャンティコーナー



★女一人でもゆける店

望月 美佐（書道家）



「私が、キャンティへゆくときは女の弟子たちと一緒にだったり、また女一人で「のみたいな」と思うときに、安心してゆける店です。神戸らしい雰囲気なかで、榊さんとリラックスに話ができるので洋酒党の私にはあうんですよ。私とお酒は、三つの時、うちが料理屋で、お水とお酒を間違えてのんで、階段から落っこちて以来縁がきれません。量ですか？時間をかければ、ウイスキーの水割りで、角一本あけるかしら……。でもお酒をのむ時、人間味のある字が書けますよ。それに女としても、芸の上にも色気ができるので好きですね」（談）

洋酒の店キャンティ

Chianti*

神戸 晴夫

神戸・生田区北長狭通二二三
TEL 八三九 3060